

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	59	-	事業名	給食物資調達事業	担当部課	教育部 給食センター
------	----	---	-----	----------	------	------------

基本情報	総合計画	基本方針	(3)	人がいきいきとつながるまち		
		分野別項目	(14)	食育を進め、健康な暮らしを支える		
		施策の進め方	(1)(2)(3)	(1)食を通じた健康の増進、(2)子どもに対する食育の推進、(3)地産地消の推進		
	まちづくり行程表	フラッグ				
		政策分類				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・給食の安定供給のため食材を不足無く調達する。 ・給食物資選定委員会を月1回開催し、見本品や価格、実績勘案、旬の時期等の配慮、予算に基づき選定する。 ・地場産農畜産物の優先使用により、地元生産者を育成し、多様な食材を安定確保する。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 給食物資、市立小中学校児童生徒及び市立保育園園児				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地元産食材を使用した安心で安全な給食の安定した供給を行う。				
	事業を構成する事務事業	① 給食物資調達事業	継続	④		
	②		⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)		千円	予算			
決算							317,708
人件費(B)		千円	決算				5,048
総コスト(A)+(B)		千円	決算				322,756

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A	愛知県産食材の割合	%	目標	40.0	40.0	50.0	53.0
実績				34.8	47.3	52.4	47.3	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 重量を基準として、食材として使用した全農畜産物のうち愛知県産農畜産物の占める割合								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 長久手市産食材は生産者が小規模で給食物資としては調達しにくい状況が続いている。天候に左右されることが多い。愛知県学校給食会等で、愛知県産食材の加工品開発が進んでいる。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) ここ数年の取組で愛知県産食材の使用割合は頂点を迎え、横ばいとなっている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) アレルギー対応のため献立を早い時期に確定することから、天候に大きく影響を受ける農産物の定量の調達が難しい。県内産の農産物では、年を通しての調達が難しい。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 安全な食材で大量納入が可能な協力事業者が増えるよう、納入指定事業者の新規参入を推進する。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	給食物資調達事業									
-----	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

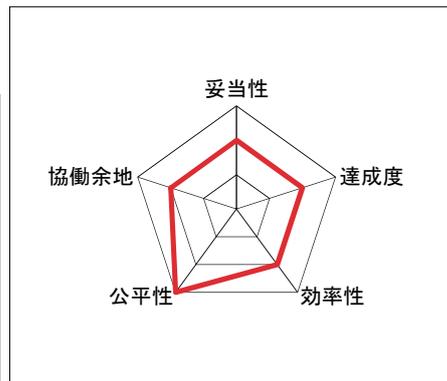
番号	①	事務事業名	給食物資調達事業									
----	---	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象 手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	<ul style="list-style-type: none"> 給食物資、市立小中学校児童生徒及び市立保育園園児 食材を不足無く調達 給食物資選定委員会の開催 地場産農畜産物の優先使用
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	地元産食材を使用した安心で安全な給食の安定した供給を行う。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	2
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				344,436
		決算				317,708

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
地場産農産物の品目数	品	目標	-	30	40	40	
		実績	28	40	42	42	
物資選定委員会の開催	回	目標	12	12	12	12	
		実績	12	12	12	12	

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

地場産農畜産物の旬の季節に合わせた献立作りのほか、地場産食材を使用したコロッケなどの加工品等の情報を活用し、いっそうの地産地消の推進を図る。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

長久手市教育委員会及び愛知県教育委員会の方針として、地場産食材の活用推進が図られている。愛知県学校給食会や地元企業等で愛知県産食材加工品の開発が進んでいる。なお、地場産農畜産物の品目数は行政評価の目標に設定していなかったが、平成25年度より内部目標に設定していたため記載した。